

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2016-165322(P2016-165322A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-45404(P2015-45404)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月23日(2017.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、制御手段を備えた遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、従来の遊技機では、検査端子に検査用信号を直接伝達するようにしてい  
るため、検査用信号に変更が発生した場合には、基板を新たに作成し直す必要があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の目的は、検査用信号の変更に対応することのできる遊技機を提供することであ  
る。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

閉状態から開状態に変換して遊技媒体を受け入れ可能とする変動入賞装置と、

前記変動入賞装置に受け入れた遊技媒体を検出する検出手段と、

所定の始動領域での遊技媒体の検出に対応して抽選を行ない、該抽選結果が所定の結果  
である場合に、前記変動入賞装置を前記閉状態から開状態に変換する特別遊技状態を発生

可能な制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

遊技を統括的に制御する演算処理手段と、

前記検出手段での検出結果を前記演算処理手段に伝達するための入力伝達手段と、

前記入力伝達手段により伝達された前記検出手段での検出結果を、検査用信号として前記演算処理手段から所定の検査端子に伝達するための出力伝達手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、検査用信号の変更に対応することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

閉状態から開状態に変換して遊技媒体を受け入れ可能とする変動入賞装置と、

前記変動入賞装置に受け入れた遊技媒体を検出する検出手段と、

所定の始動領域での遊技媒体の検出に対応して抽選を行ない、該抽選結果が所定の結果である場合に、前記変動入賞装置を前記閉状態から開状態に変換する特別遊技状態を発生可能な制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

遊技を統括的に制御する演算処理手段と、

前記検出手段での検出結果を前記演算処理手段に伝達するための入力伝達手段と、

前記入力伝達手段により伝達された前記検出手段での検出結果を、検査用信号として前記演算処理手段から所定の検査端子に伝達するための出力伝達手段と、を備えることを特徴とする遊技機。